

|            |  |
|------------|--|
| タイトル       | ふるさと学習を中核とした信州型コミュニティスクール  |
| 名称（学校・地域）  | 飯山市立常盤小学校  |
| 日時・場所等     |  |
| ホームページアドレス | <a href="mailto:tokiwa@iiyama-catv.ne.jp">tokiwa@iiyama-catv.ne.jp</a> |

## 子どもが学校と地域をつなぐ「ふるさと学習」

### 1 ふるさと学習を通して、地域との新たな連携が生まれる

平成25年度、常盤小学校の5学年では、総合的な学習の時間『昭和五十八年洪水』に学ぶ』において、17名の子どもが160件以上を訪問し、常盤地区の方々にインタビューを行いました。子どもたちは、地域の方々とふれ合う中で、「地区の消防団がお年寄りを背負って逃げたこと」「育てていた牛や豚が流され、それを協力して助けたこと」など、当時の洪水被害の様子や洪水後も地域に住み続ける方々の思いを肌で感じ、学習を深めました。

この学習を通して、日頃学校に関わりのない方とのつながりが生まれ、子どもの問題解決学習のための学習支援が行われました。また教職員が「ふるさと学習」の良さと必要性を再確認し、「ふるさと学習」を通して地域の方が育ててくれる信州型CSの実践に無理なく取り組み始めました。

平成26年度の「ふるさと学習」では、地域の方と「絵手紙」や「とうふづくり」、「みそづくり」、「常盤ぼうきづくり」、「菜の花プロジェクト」、「常盤にも戦争があった～未来への伝言～」などの活動や学習を行いました。

常盤ぼうきづくりを体験した4年生は、「丈夫で壊れにくくするために、いろんな工夫をしているんだね」と、「常盤ぼうき」を作る人の思いを体験を通して感じていきました。

戦争体験の聞き取り調査をした6年生は、常盤での戦争の事実を一つ一つ掘り出し、「常盤にも戦争があった～未来への伝言～」として記録に残していきました。

「ふるさと学習」を通して、地域が子どもを育て、子どもが学校と地域をつなぎ、新たな地域との連携が生まれ、学びが広がっていきました。



絵手紙教室



常盤ぼうきづくり



戦争体験聞き取り調査

### 2 学校が地域の情報を共有する場に

常盤小学校では、「信州型CS運営委員会」を学校からの情報を共有する場とするだけでなく、地域の情報を共有する場としても大切にしています。保護者へはPTA総会を使って、地域団体から活動の様子や願いが伝えられます。児童へは、給食の時間に高学年児童が地域で取り組んでいる活動の様子が紹介されたり、朝の集会で地域の剣道クラブの実演が発表されたりと、無理をして特別な時間や場を設けることなく、地域情報を発信する工夫をしています。このように情報を共有することで、学校と地域がつながり、地域団体と地域団体がつながり、地域の活性化につながっていくことを願っています。

### 3 信州型CSで子どもが育ち、教職員が育つ学校

「ふるさと学習」を通して、子ども達の問題解決能力が育ち、地域のよさが実感される学校・地域に変わりつつあります。信州型CSを通して、教職員と地域の人々がお互いの立場を尊重し子どもをよりよく育てる関係が築かれ、子どもの将来につながる学力向上が一步進む学校・地域づくりが動き始めています。